特定課題懇談会設立経緯と実績

テーマを絞った深い懇談が目的

大原　健 議員
（花巻クラブ）

Q 今年度から開催している特定課題懇談会について、設立経緯と現段階の実績、今後の予定について伺う。

A（市長） これまでの市民懇談会は、行政への要望や意見を頂く内容で終わっていたが、ある程度テーマを絞ってより深く懇談することを目的に特定課題懇談会を設立した。これまで、4団体からの申し込みがあり、3団体について懇談を行ったほかに、市からの依頼で「キャンパスミーティングin富士大学」を開催した。今後も残る1団体と懇談する予定である。

学校選択制への見解

Q 桜台小学校と花巻小学校の学校選択制導入について、桜台小学校PTAから「1年間猶予期間を設け、平成21年度からの実施としてはどうか」との要望書が提出されたが、それに対する教育委員会の見解を伺う。

A（教育長） 今回の要望は、PTAの総意であると認識しており、真摯に受け止めながら、長期的な学習環境改善の観点に立ち、関係各位と引き続き議論を重ね、早期に結論を出したい。

「学生が生き生きと学び、暮らせるまちづくり」をテーマに「キャンパスミーティングｉｎ富士大学」が開催されました（10／31、富士大学）

市内31カ所で来年度実施される後期高齢者医療制度についての説明会が開かれました（12／21、太田地区）

後期高齢者医療制度への対応

健診料の無料化・軽減は検討中

櫻井　肇 議員
（無会派）

Q 後期高齢者医療制度への対応として、保険料の市独自の減免制度を設けるべきと考えるがいかがか。また、健診事業の無料化・軽減についての見解も併せて伺う。

A（生活環境部長） 保険料の減免については、保険者である岩手県後期高齢者医療広域連合の条例において定めることになっている。また、健診事業については、岩手中部地区広域市町村圏事務組合に依頼することで進めており、無料化、軽減については、現在検討中である。

品目横断対策の決算

Q 「品目横断的経営安定対策」下での初年度における各集落営農組織の決算見込みはいかがか。

A（産業部長） 現在決算に向けて作業を進めているが、品目横断的経営安定対策の生産量・品質に基づく支払い等が確定しておらず、結果はまだ定まっていない。米価の動向等から、組織によっては、生産原価が収益を上回り、単年度収支がマイナスになる組織もあると推計される。いずれ、平成20年7月ころに交付金が支払われ、平成19年度の収支が確定する。

総務常任委員会

総務常任委員会で実施した行政視察の概要についてご紹介します。

視察日＝平成19年10月31日～11月2日
視察先＝大分県豊後高田市
　　福岡県八女市
報告者＝委員長　近村　晴男

環境活動促進にエコマネー事業導入

～大分県豊後高田市～

豊後高田市では、平成16年度から「昭和の町エコマネー」事業を展開中で、本年で4年目を迎えていました。

環境活動への参加促進を目的に、市主催の清掃活動や推進大会に参加した方、5人以上で公共用地の清掃を行った方に「100エコ」の金券を渡し、文房具やトイレットペーパー、ごみ袋などのエコ商品やマイバッグとの交換、市民乗合タクシーや温泉施設の利用もできるというものです。

平成18年度は、約6,900枚の発行で前年度より約1,800枚増え、市民の環境に対する意識は高まってきているとのことでした。

身近なところから市民の環境に対する意識の高揚と行動につなげる一つの手段であると感じました。

市民の提案事業で協働のまちづくり

～福岡県八女市～

八女市では地域のさまざまな公共的課題を行政任せとせず、市民が自主的・主体的に取り組むという「協働のまちづくり提案事業」を実施していて、最終年となる3年目を迎えていました。

これまでに①水のまちづくり②商家町の資源発掘③子どもの遊び場検証④花宗川クリーンアップ作戦⑤市民協働の子ども支援⑥蛍で地域おこしなど29の事業が採択されています。

市は50万円を限度に助成し、実践活動の報告や市への提案を受け、市政に反映させているとのことでしたが、継続の必要性の問いに対し、市長も検討中であるとの回答でした。

市民が自主的・主体的に取り組む協働のまちづくりについて説明を受けました（福岡県八女市）